

圏域の現状や今後の進め方 について

札幌市まちづくり政策局政策企画部

■ 圏域の現状①

面積：4,514.89km²（全道の約5%）

人口：2,600,875人（全道の約48%）

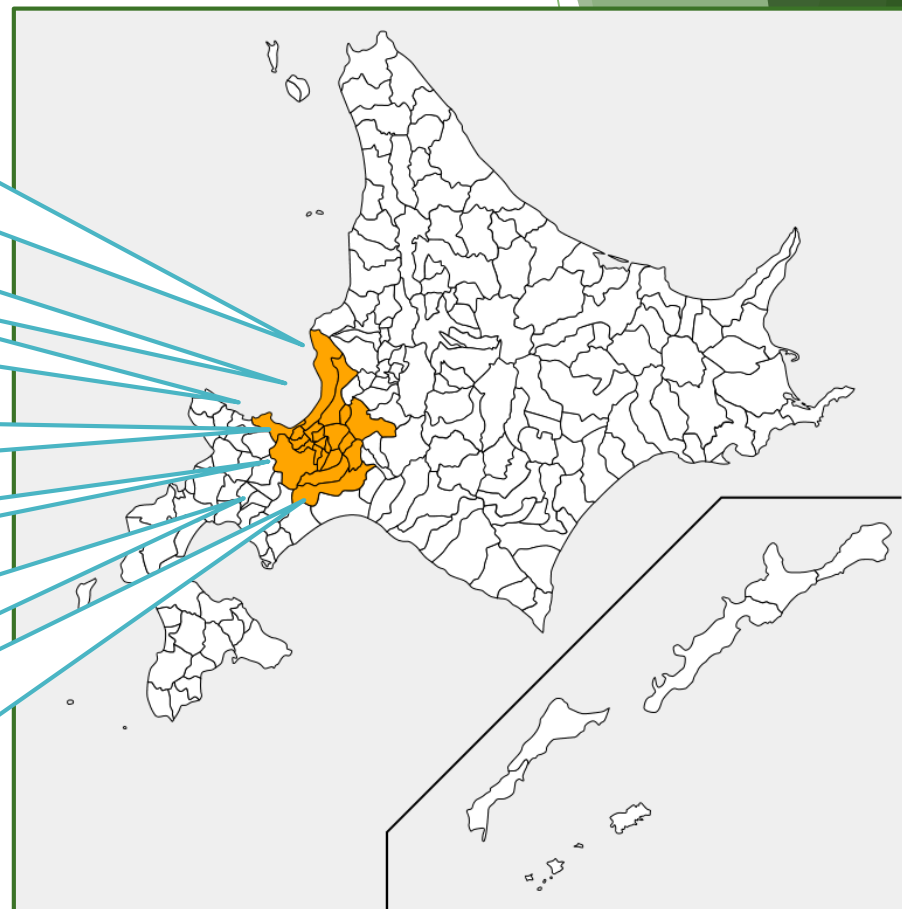
事業所数：100,943（全道の約40%）

事業所の売上(収入)金額試算値(※)
22,952,456百万円（全道の約52%）

製造品出荷額等：
1,531,227百万円（全道の約23%）

観光入込客数（延べ人数）：
35,188千人（全道の約25%）

新千歳空港に到着した来道者：
9,219千人（全道の約68%）



27年国勢調査、28年全国都道府県市区町村別面積調
26年経済センサス、28年工業統計、
28年度北海道観光入込客数調査、28年度来道者輸送実績より

※ 事業所単位での売上(収入)の把握ができない産業(例：電気・ガス)の試算値を加えて算出

■ 圏域の現状②

- ・ 人口減少傾向、少子高齢化の進展

	人口（2040年は推計）			高齢化率（2040年は推計）		
	2010年	2015年	2040年	2010年	2015年	2040年
札幌市	1,913,545	1,952,356	1,711,636	20.5%	24.8%	39.9%
小樽市	131,928	121,924	73,841	31.5%	37.2%	45.4%
岩見沢市	90,145	84,499	60,523	27.8%	32.6%	42.9%
江別市	123,722	120,636	96,503	21.8%	27.1%	41.5%
千歳市	93,604	95,648	88,678	17.4%	20.9%	31.5%
恵庭市	69,384	69,702	63,053	20.8%	25.1%	35.8%
北広島市	60,353	59,064	46,784	22.5%	29.0%	44.0%
石狩市	59,449	57,436	46,564	23.1%	30.0%	39.7%
当別町	18,766	17,278	11,414	24.6%	30.3%	50.3%
新篠津村	3,515	3,329	2,301	30.0%	33.0%	40.0%
南幌町	8,778	7,927	5,142	23.6%	29.8%	54.0%
長沼町	11,691	11,076	8,004	29.7%	34.7%	44.1%
合計	2,584,880	2,600,875	2,214,443	21.5%	25.9%	40.0%
全国平均	—	—	—	23.1%	26.7%	36.1%

27年国勢調査、日本の地域別将来推計人口より

■ 圏域の現状③

・ 産業（※）及び製造業の状況

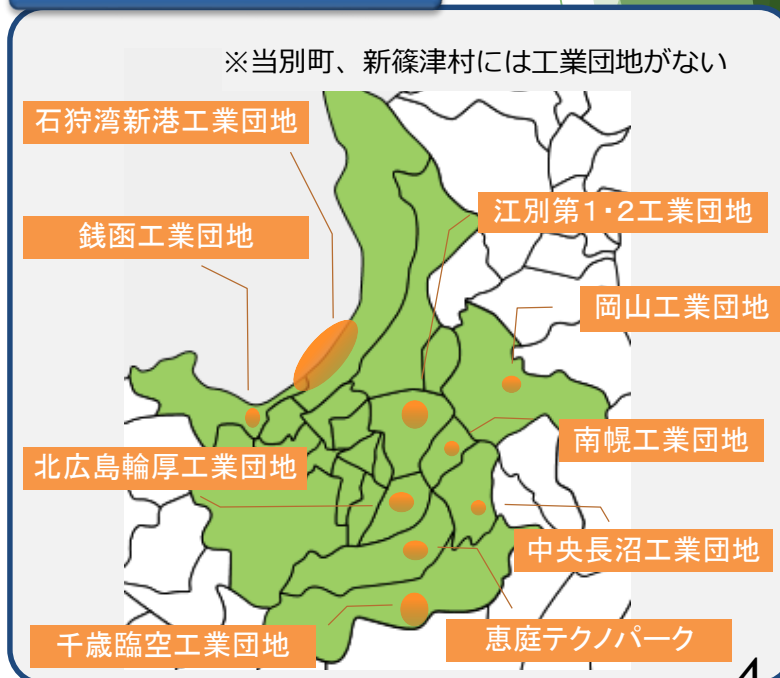
- ▶ 農林漁業・・・新篠津村、長沼町、南幌町、当別町
- ▶ 製造業・・・千歳市、恵庭市
- ▶ 宿泊業・・・小樽市、千歳市、札幌市
- ▶ 教育・・・江別市、北広島市、岩見沢市

※就業者の産業別割合で、大きな割合を占める産業を抜粋

製造業の状況

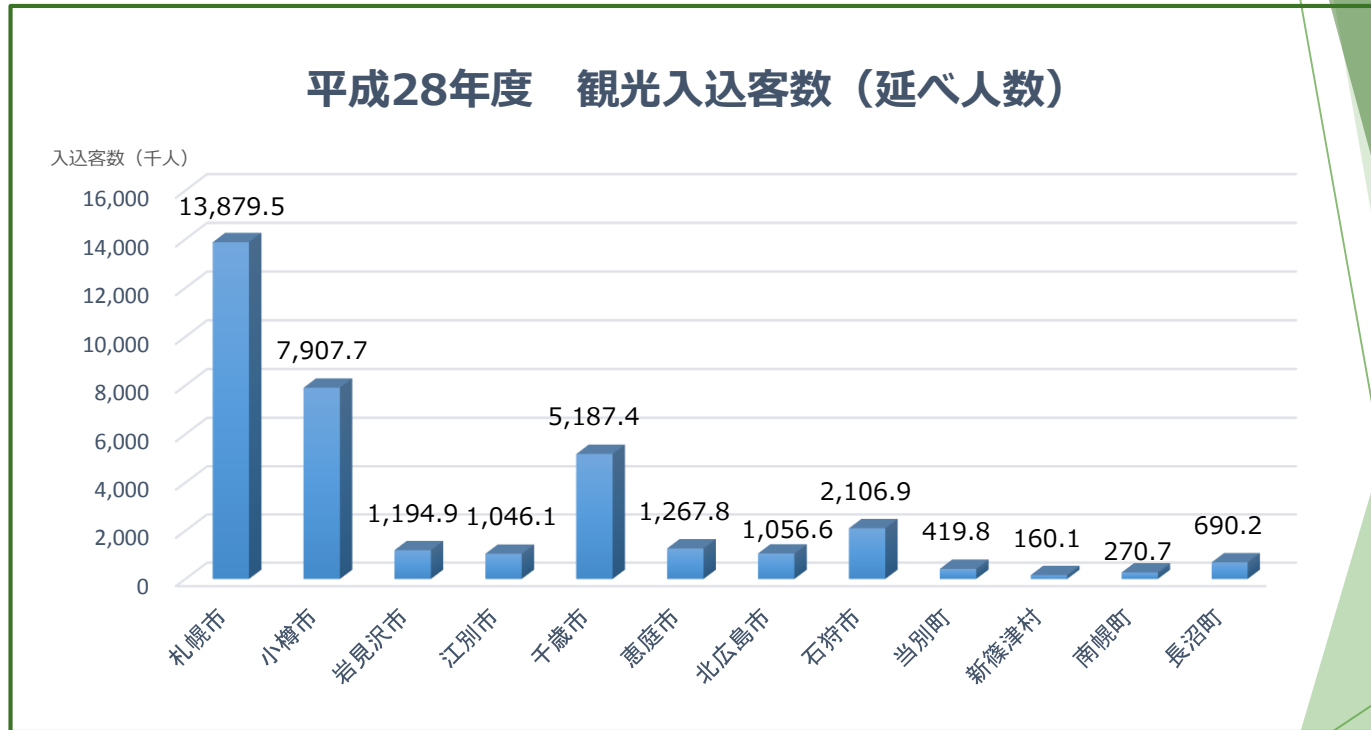
	製造業事業所	製造業従業者	製造品出荷額等(百万円)	産業別製造品出荷額	
				1位	2位
札幌市	1,053	28,072	558,300	食料品	印刷関連
小樽市	242	7,240	188,455	食料品	飲料・煙草
岩見沢市	66	2,555	74,003	食料品	プラスチック
江別市	93	3,582	87,505	食料品	パルプ・紙
千歳市	95	6,763	240,011	電子部品	食料品
恵庭市	85	4,514	145,914	食料品	飲料・煙草
北広島市	74	3,248	87,308	化学工業	金属製品
石狩市	128	3,959	114,913	食料品	金属製品
当別町	11	1,069	—	—	—
新篠津村	3	22	—	—	—
南幌町	17	317	4,952	—	—
長沼町	12	195	2,078	—	—

札幌周辺の主な工業団地



■ 圏域の現状④

・ 観光入込客の状況



平成28年度北海道観光入込客数調査より

■ これまでの取組

・ 札幌広域圏組合の実施事業(2017年度事業)

- ▶ 共同研修
- ▶ 新採研修
- ▶ 首都圏PR
- ▶ 広報事業
- ▶ ジュニアコンサート
- ▶ アート振興事業
- ▶ 逸品発掘事業
- ▶ 移住促進事業
- ▶ 婚活支援事業

・ 札幌市各部局による連携(2016年度事業抜粋)

- ▶ 政策マーケティング・リサーチ研修
- ▶ 救急安心センターさっぽろの広域展開
- ▶ 企業誘致連携
- ▶ 札幌圏設備投資促進
- ▶ さっぽろ広域観光圏周遊促進
- ▶ さっぽろ圏若者定住促進広域連携
- ▶ し尿受入
- ▶ 雪堆積場の共同活用

■ 市町村の抱える課題①

・ 石狩管内の市町村へのヒアリング

- ▶ 人口減少、定住人口の減少
- ▶ 少子高齢化
- ▶ 公共施設の維持管理
- ▶ 就職先不足
- ▶ 自治体の知名度不足
- ▶ インバウンド、観光ルートの形成
- ▶ 空家対策
- ▶ 交通手段が少ない 等

札幌広域圏組合「平成28年度（仮称）「札幌広域圏ビジョン」策定に関する調査業務報告書」より

■ 市町村の抱える課題②

・ 市町村の総合戦略から抜粋

- ▶ 人口減少、特に若年層の人口流出
- ▶ 安定した雇用の創出
- ▶ 未分譲の工業団地
- ▶ 事業者側の求人内容と、求職者側の希望条件との乖離
(雇用のミスマッチ)
- ▶ 食のブランド化や特産品の開発
- ▶ 生活環境の良さや豊かな自然などの、まちの魅力のP R

小樽市総合戦略、岩見沢市総合戦略、南幌町まち・ひと・しごと創生総合戦略、
長沼町人口ビジョンまち・ひと・しごと総合戦略 より

■ 連携した取組が期待できる事業

・ 石狩管内の市町村へのヒアリング

- ▶ UIターン支援
- ▶ 公共施設の相互利用
- ▶ 職業体験、合同企業説明会等の就職支援
- ▶ 観光ルートの形成
- ▶ 空き家情報の一括管理
- ▶ 公共交通の強化 等

札幌広域圏組合「平成28年度（仮称）「札幌広域圏ビジョン」策定に関する調査業務報告書」より

■ 今後の進め方について(2017年度中)

・ 既存事業の整理

- ▶ 既存の広域的な事業について、事業内容の拡大等を検討
- ▶ 広域的に行っていない事業の広域化の検討

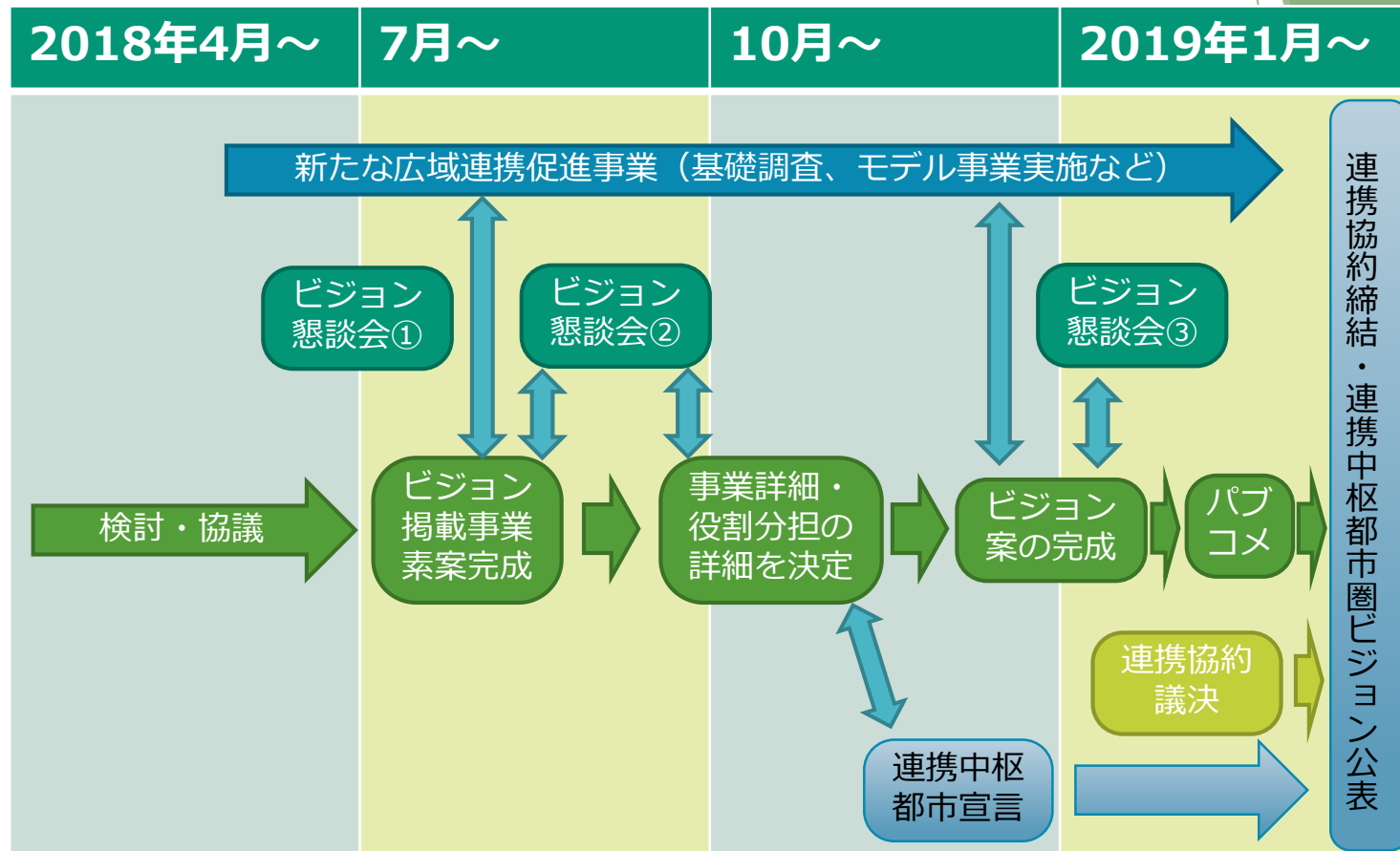
・ 新規事業の検討

- ▶ 平成30年（2018年）以降に実施の見込みがある新規事業
- ▶ 将来的な事業化に向け、今後調整していく事業の検討

➡ 今後、具体的な内容を検討・協議
していく事業を整理

■ 今後の進め方について (2018年度以降)

- ・ 想定スケジュール (最短)



➡ 最短で、平成31年（2019年）3月に圏域を形成することを目指す

■ 今後の進め方について

- 新たな広域連携促進事業

- ▶ 各市町村の現状等の基礎的調査実施
- ▶ モデル事業実施

- 連携中枢都市圏ビジョン懇談会

- ▶ 産業、大学・研究機関、金融機関等、関係する分野や機関の代表者等により構成

- 連携中枢都市宣言、連携協約、
連携中枢都市圏ビジョン

- ▶ 連携協約の締結には、各市町村議会の議決が必要
- ▶ 連携中枢都市圏ビジョンの策定に際して、パブリックコメントの実施を予定